

ひのきだっか
32. 檜岳 (神奈川県西部 標高 1167m)

鍋割山から南西方向に伸びている尾根の稜線上に位置するこの檜岳は、一般登山者がほとんど入らない静寂な尾根歩きの出来る、私の大好きなコースのひとつです。しかし、雨山峠まで入るには、寄(やどろぎ)から稲郷を経て雨山峠に至るコースと、玄倉(くろくら)から玄倉林道を歩き雨山橋から雨山峠に至るコースとがありますが、いずれも沢沿いを歩くコースとなり大雨の後などは経路が荒廃し、かなり難しいコースと言えます。

春は、オオルリやコマドリの声を楽しみながら沢沿いを歩くと気持ちの良いものですが、ここ数年スズタケの枯れこみが進みコマドリの姿がめっきり少なくなったのが気になります。それでもブナ林の林床には春にはシコクスミレやツルシロカネソウが楚々と咲き、コガラの優しいさえずりが聞こえてくれば私の最高の至福のひとつです。中でも、雨山峠～雨山～檜岳～伊勢沢の頭の稜線部は春の芽吹きと秋の紅葉が素晴らしく、静かな山歩きと探鳥が楽しめるコースと言えます。

檜岳の頂上を過ぎると、ヒコサンヒメシャラやエゴノキ、マユミ等からなる雑木林となります。木漏れ日射す中、足下からはふかふかとした感触が伝わってきて何とも心地の良い山歩きができます。この先のカヤトに覆われた草原には、山中では珍しくキジがよく見られます。また伊勢沢の頭付近一帯はヤマトリカブトが群生してい

て、秋には紫の花で覆われます。

ここから秦野峠まではところどころにガレ場が有り、足下に注意が必要となります。秦野峠から舗装された広い林道に出たら、後は寄のバス停まで一時間半の長い林道歩きとなります。林縁部は鳥も良く出ますし、寄までの中津川沿いではカワガラスなども観察されますので楽しみましょう。

(浅川久子)

トリカブト
 絵：大塚裕美



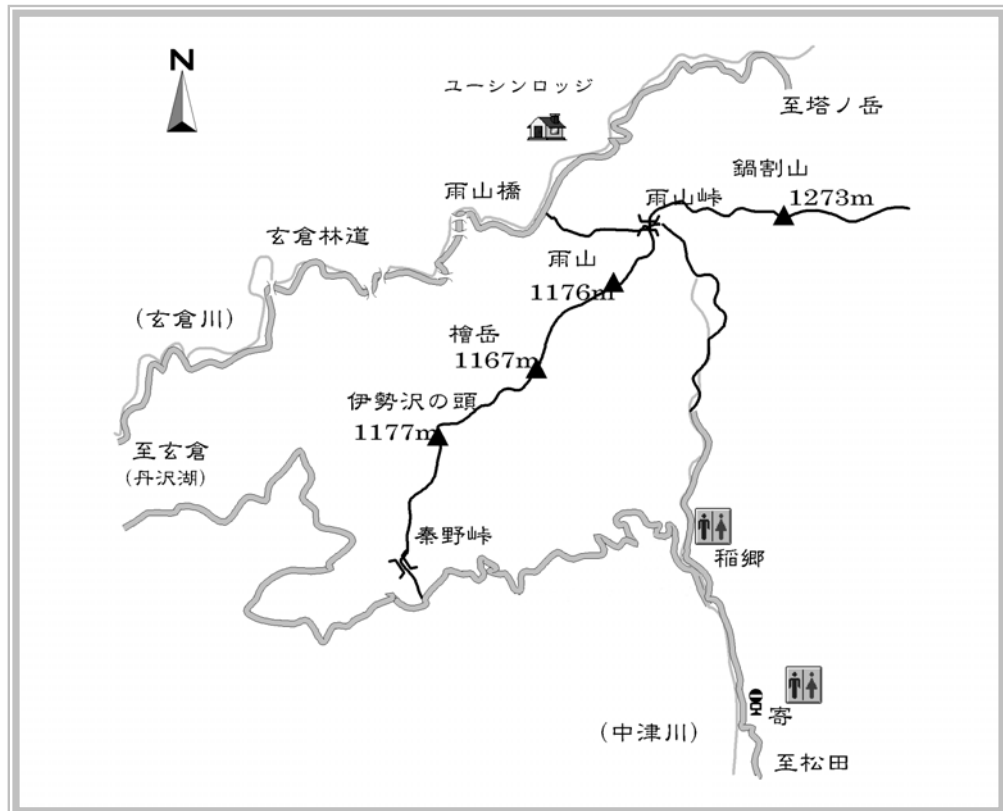
コースタイム 8時間
 玄倉～小川谷出合～雨山橋～雨山峠～雨山～檜岳～伊勢沢ノ頭～秦野峠～稲郷～寄
 地形図：1:25,000 大山、秦野、中川、山北 案内図：丹沢(昭文社)

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

注1 秋には沢沿いに咲き乱れるダイモンジソウやイワシャジンは一服の清涼剤となりますが、夏の大雨や台風の後の登山は道が荒廃して危険です。

注2 檜岳一帯は猟区となっています。狩猟期間(11月15日~2月11日)



観察できた鳥

1999.5.3 1999.10.9 1999.11.7

チョウゲンボウ・セグロセキレイ・キセキレイ・ハクセキレイ・ホオジロ・キジバト・ジョウビタキ・ミソサザイ・ヒヨドリ・シジュウカラ・ハシブトガラス・ヤマガラ・ウグイス・ヤマドリ・メジロ・モズ・カワガラス・スズメ・ハシボソガラス・ツグミ・コゲラ・カケス・エナガ・カワラヒワ・アカゲラ・コゲラ・ヒガラ・トビ・クロツグミ・コルリ・オオルリ・コマドリ・センダイムシクイ・ゴジュウカラ・ルリビタキ・ツツドリ・ヤブサメ・アオゲラ・クマタカ・キジ・ウソ・アカハラ・シロハラ・エゾムシクイ・イワツバメ・ツバメ・イカル・コジュケイ・アオジ・コサメビタキ・ノスリ・トラツグミ

あし

- ・行き JR御殿場線松田駅/小田急線新松田駅下車 富士急行バス 西丹沢行き 玄倉下車
- ・帰り 寄バス停 富士急行バス 小田急線新松田駅行き
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照